



平成 27 年 10 月 23 日

各 位

上場会社名 東 急 建 設 株 式 会 社
代表者 代表取締役社長 飯塚 恒生
(コード番号 1720)
問合せ先責任者 財務部長 落合 正
(TEL 03-5466-5061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 8 月 5 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,000	百万円 3,400	百万円 3,700	百万円 2,500	円 銭 23.43
今回修正予想 (B)	115,000	4,700	5,200	3,300	30.92
増 減 額 (B-A)	0	1,300	1,500	800	
増 減 率 (%)	0.0	38.2	40.5	32.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	106,096	837	1,577	1,531	14.35

(2) 個別業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 111,000	百万円 3,300	百万円 3,600	百万円 2,400	円 銭 22.49
今回修正予想 (B)	111,600	4,600	4,900	3,000	28.11
増 減 額 (B-A)	600	1,300	1,300	600	
増 減 率 (%)	0.5	39.4	36.1	25.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	102,909	850	1,629	1,621	15.20

(3) 修正の理由

(個別業績予想)

主に建築工事の工事採算の向上に伴い完成工事総利益が増加したことにより、営業利益、経常利益はそれぞれ 13 億円、四半期純利益は 6 億円増加する見込みです。

(連結業績予想)

主に個別業績予想の修正に伴い修正を行うものです。

2. 平成 28 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 268,000	百万円 8,000	百万円 8,600	百万円 6,000	円 銭 56.22
今回修正予想 (B)	294,000	11,400	12,500	8,200	76.84
増 減 額 (B-A)	26,000	3,400	3,900	2,200	
増 減 率 (%)	9.7	42.5	45.3	36.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	262,815	6,009	8,024	5,805	54.40

(2) 個別業績予想数値の修正

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 257,500	百万円 7,500	百万円 7,400	百万円 5,000	円 銭 46.85
今回修正予想 (B)	286,000	11,100	11,200	7,000	65.59
増 減 額 (B-A)	28,500	3,600	3,800	2,000	
増 減 率 (%)	11.1	48.0	51.4	40.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	254,073	5,617	6,541	4,602	43.12

(3) 修正の理由

(個別業績予想)

売上高は、新規受注工事の進捗等により 285 億円増加する見込みです。売上高の増加と、工事採算の向上に伴う完成工事総利益の増加等により、営業利益は 36 億円、経常利益は 38 億円、当期純利益は 20 億円それぞれ増加する見込みです。

(連結業績予想)

主に個別業績予想の修正に伴い修正を行うものです。

(ご参考) 平成 28 年 3 月期 個別受注予想

	第 2 四半期累計期間	通期
前回発表予想	百万円 110,000	百万円 210,000
今回修正予想	132,691	250,000
前期実績 (平成 27 年 3 月期)	225,265	333,313

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上